



平成23年2月29日

## 耳かき中の事故に注意！

～3月3日は耳の日～

東京消防庁管内では、平成19年から平成23年までの5年間に、耳かきをしていた際に380人が受傷し救急搬送されています。

3月3日の耳の日を前に、耳かき中の事故に対する注意を呼びかけています。

※平成23年の数値にあっては速報値となっています。

- 1 年齢層別では、0～5歳が158人と約4割を占めており、他の年齢層に比べて突出して多くなっています。
- 2 0～5歳の158人のうち、1歳が最も多く63人と約4割、次いで2歳が約2割となっています。
- 3 受傷要因別では、「奥に入れ過ぎて出血等」が157人と最も多く、全体の約4割を占めており、次いで「人や物（動物を含む。）に接触」が87人で約2割となっています。
- 4 受傷者別受傷要因ごとの0～5歳が占める割合をみると、自分で耳かきをしていた場合は「転倒した、寝ころんだ」、誰かに耳かきをしてもらっていた場合には「耳かき中に顔や頭を動かす」ことによる受傷が高い割合を占めています。
- 5 多くは軽症ですが、入院を要するようなかげも発生しています。

けがをしたとき、急病のときに・・・。  
「病院へ行った方がいいかな。」、「救急車を呼んだ方がいいのかな。」  
迷ったときには「東京消防庁救急相談センター（#7119）」へ相談してください。

「病院へ行った方がいいのかな？」  
「救急車を呼んだ方がいいのかな？」 **迷ったら**  
**東京消防庁救急相談センター** 24時間対応  
年中無休  
**#7119**  
つながらない場合は…  
23区 **03(3212)2323**  
多摩地区 **042(521)2323**  
東京消防庁 東京都医師会 東京都福祉保健局

東京消防庁では、今後も同様の救急事故の発生状況を注視し、注意を促すなど、都民の安全確保に努めてまいります。

問合せ先

（東京消防庁（代） 電話 3212-2111）  
防災安全課防災安全係 内線 4206  
広報課報道係 内線 2345～2349

# 【耳かき中の事故に注意！】

東京消防庁

東京消防庁管内<sup>1</sup>では、平成19年から平成23年<sup>2</sup>までの5年間に耳かきをしていて受傷した事故により、380人が救急搬送されています。

救急事故の発生状況は次のとおりです。

## 1 年別救急搬送人員

耳かき中の事故により、年平均76人が救急搬送されています（図1）。

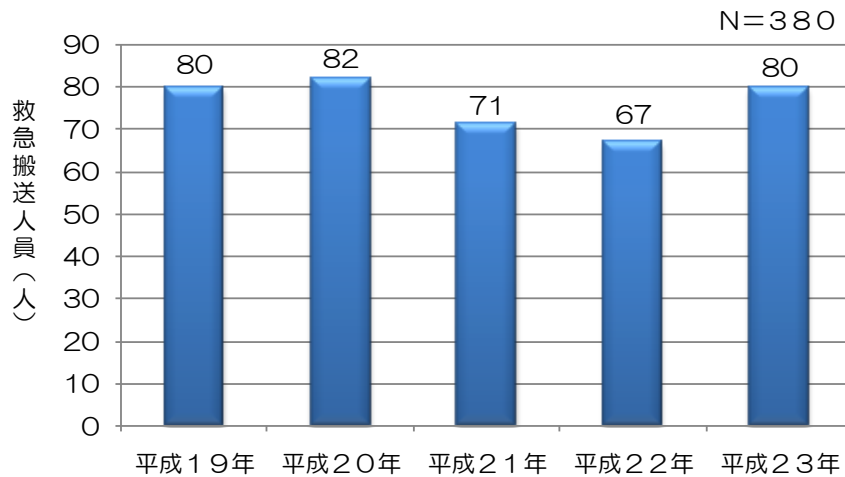


図1 年別救急搬送人員

## 2 年齢層別救急搬送人員

年齢層別救急搬送人員をみると、0～5歳の乳幼児が158人で、他の年齢層に比べて突出して多くなっています。次いで6～12歳、20歳代から30歳代に多く発生しています（図2）。

最も多い0～5歳では、1歳が63人で40%と最も多く、次いで2歳、3歳が続いています（図3）。

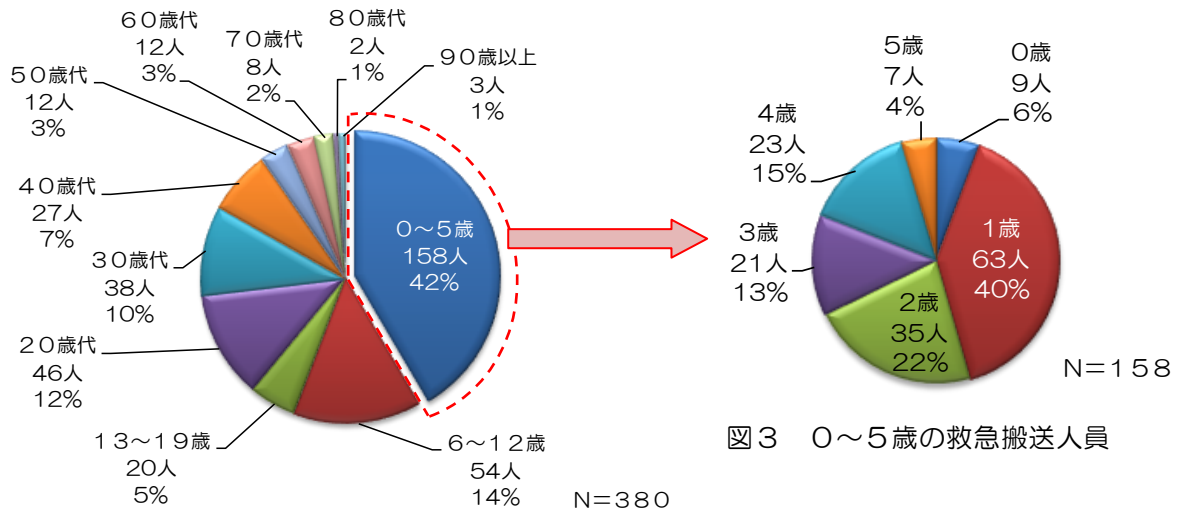


図3 0～5歳の救急搬送人員

図2 年齢別救急搬送人員

<sup>1</sup> 東京都内の稲城市、島しょ部を除く地域です。東久留米市は平成22年4月から東京消防庁管内となりました。  
<sup>2</sup> 平成23年分については速報値です。

### 3 初診時程度<sup>3</sup>別救急搬送人員

初診時程度では、95.3%が軽症と診断されています。

中等症以上の事故では、0～5歳が最も多く7人で約4割を占めています（図4・5）。

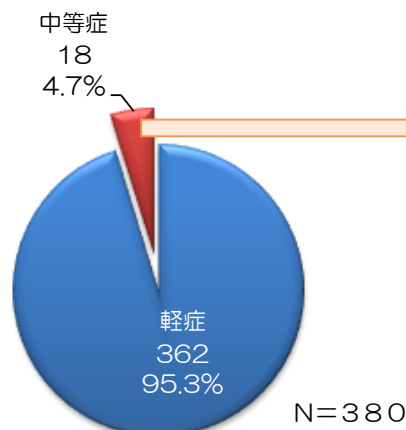


図4 初診時程度別救急搬送人員

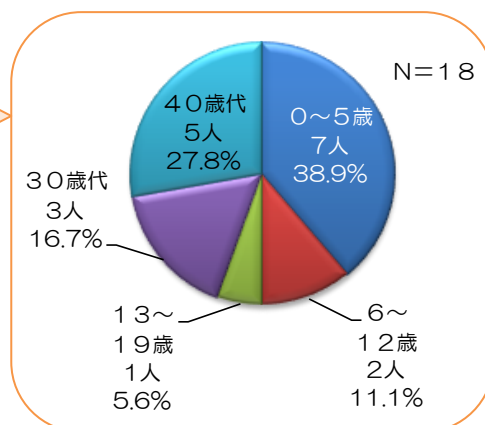


図5 中等症以上の年齢層別救急搬送人員

### 4 年齢層別の救急搬送人員

#### (1) 受傷要因別救急搬送人員

受傷要因別の救急搬送人員では、耳かき棒等を「奥に入れ過ぎるなどして出血等」が157人と最も多く、全体の約4割を占めています。次いで「人や物（動物を含む。）に接触」が87人、「途中で折れた、詰まった」が39人と続いています（表1）。

表1 年齢層別要因別救急搬送人員

要因 年齢層	奥に入れ過ぎるなどして出血等	人や物（動物を含む。）に接触	途中で折れた、詰まった	転倒した、寝ころんだ	他人に押し込まれた	耳かき中に顔や頭を動かす	その他（不明含む。）	総計（人）
0～5歳	71	15	8	18	14	4	28	158 (41.5%)
6～12歳	17	22	5	3	1	-	6	54 (14.2%)
13～19歳	9	6	1	2	-	1	1	20 (5.2%)
20歳代	19	14	10	-	-	1	2	46 (12.1%)
30歳代	11	16	2	1	-	4	4	38 (10.0%)
40歳代	11	8	4	1	-	1	2	27 (7.1%)
50歳代	2	4	5	1	-	-	-	12 (3.1%)
60歳代	8	-	3	-	-	-	1	12 (3.1%)
70歳代	5	2	1	-	-	-	-	8 (2.1%)
80歳代	1	-	-	-	-	-	1	2 (0.5%)
90歳以上	3	-	-	-	-	-	-	3 (0.7%)
総計（人）	157 (41.3%)	87 (22.8%)	39 (10.2%)	26 (6.8%)	15 (3.9%)	11 (2.8%)	45 (11.8%)	380

#### (2) 受傷者別救急搬送人員

自分で耳かきをしていた（入れた）際に受傷したものが280人で全体の約7割を占めており、そのうち最も多い年齢層が0～5歳で88人となっています。

また、誰かに耳かきをしてもらっていた際に受傷したものが88人となっており、

<sup>3</sup> 救急隊によって医療機関に搬送された際、初診の医師が以下の基準によって示した重症度分類のことで、（軽症）：軽易で入院の必要がないもの（中等症）：生命の危険はないが入院の必要があるもの

こちら0から5歳が最も多く61人となっています（表2）。

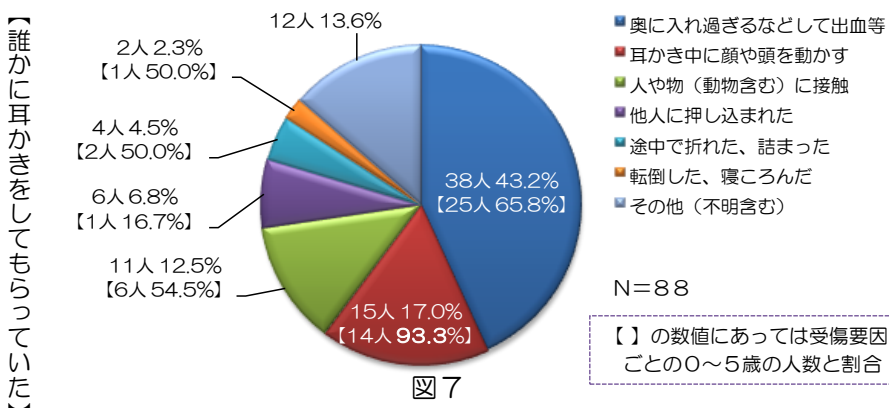
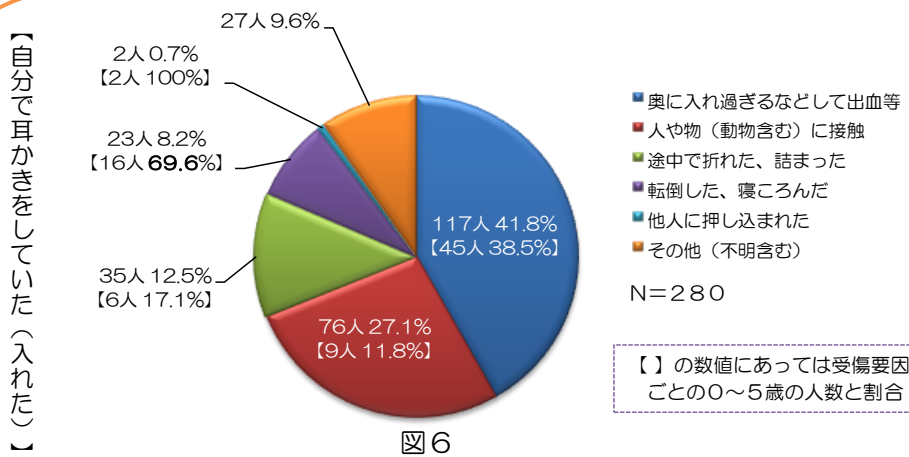
表2 受傷者別年齢層ごとの救急搬送人員

受傷者 年齢層	自分で耳かきをして いた（入れた）	誰かに耳かきをして もらっていた	不 明	総 計 （人）
0 ～ 5 歳	88	61	9	158
6 ～ 12 歳	41	12	1	54
13 ～ 19 歳	17	3	-	20
20 歳 代	44	1	1	46
30 歳 代	32	5	1	38
40 歳 代	26	1	-	27
50 歳 代	11	1	-	12
60 歳 代	11	1	-	12
70 歳 代	8	-	-	8
80 歳 代	1	1	-	2
90 歳 以上	1	2	-	3
総 計（人）	280 (73.7%)	88 (23.2%)	12 (3.2%)	380

### 5 受傷者別受傷要因割合

自分で耳かきをしていた場合と、誰かに耳かきをしてもらっていた場合では、どちらも「奥に入れ過ぎるなどして出血等」が約4割を占めています。

また耳かき中の事故で受傷者が最も多い0～5歳の受傷要因ごとの割合をみると、自分で耳かきをしていた場合には、「転倒した、寝ころんだ」が23人中16人で約7割を占めています。誰かに耳かきをしてもらっていた場合では、「耳かき中に顔や頭を動かす」が15人中14人で約9割と高い割合を占めています（図6・7）。



## 6 近年の救急事故事例

受傷者別受傷要因割合

- (1) 母親が1歳女児の耳掃除をしていたところ、娘が頭を動かしたため、誤って竹製の耳かきで耳腔内を傷つけ出血したもの  
(平成23年10月 大田区 1歳女児 中等症)
- (2) 自宅居室内で2歳男児が耳かきで遊んでいた際、右耳に耳かきを入れ耳腔内を傷つけ出血が止まらなくなったもの  
(平成23年10月 八王子市 2歳男児 中等症)
- (3) 母親が3歳女児の耳掃除をしていたところ、女児の弟が母親の腕にぶつかりその反動で耳腔内を傷つけたもの  
(平成23年12月 日野市 3歳女児 中等症)
- (4) 7歳の男児が、寝そべった状態で竹製の耳かきで右耳を掃除しながら、寝返りをうった際に耳かきが刺さり、右耳から出血したもの  
(平成23年6月 調布市 7歳男児 中等症)
- (5) 30歳代の女性が綿棒を使って左耳を掃除していたところ、子どもの手がぶつかり、綿棒が左耳に突き刺さり受傷したもの  
(平成23年2月 江戸川区 30歳代女性 中等症)

## 6 事故防止のポイント

これまでの救急搬送状況や事故事例から、以下のことに注意をしましょう。

- (1) 無理をして耳かき棒等を耳の奥まで入れない！
- (2) 耳かきをしている時は周囲の状況（特に子供、ペット等）に注意する！
- (3) 耳かき棒等を使用している人を押しついたりしない！
- (4) 整理整頓を心がけ、耳かき棒等は乳幼児の手の届く範囲に放置しない！
- (5) 乳幼児に耳かきをする時や、耳垢が取りづらい時などは耳鼻咽喉科等の受診も考慮する。

「病院へ行った方がいいのかな？」 迷ったら  
「救急車を呼んだ方がいいのかな？」

東京消防庁救急相談センター 24時間対応 年中無休

**#7119**

つながらない場合は…

23区 03(3212)2323  
多摩地区 042(521)2323

東京消防庁 東京都医師会 東京都福祉保健局